

平成 29 年度 活動レポート : ワイナリーと連携したワイン用ぶどうの生産振興

■背景とねらい

ワイン用ぶどう栽培上の課題に対応するために、「NAGANO WINE 栽培プラットフォーム」の運営が始まった。生産者・ワイナリー、県試験場、普及センターがそれぞれの持つ知見や課題を共有し、栽培技術の向上を図る。

■本年度の取組と成果

飯綱町と千曲市のワイン用ぶどうほ場にクロープナビを設置し、気象条件とぶどうの生育や品質、病害虫との関連性を調査した。

平成 30 年 3 月 6 日に須高地区「NAGANO WINE 栽培プラットフォーム」栽培検討会を開催し、関係者 46 名が参加して、本年度の気象経過とワイン用ブドウの生育概況及び病害虫の発生状況と対策について情報交換を行った。



須高地区ワインぶどう栽培検討会の様子

■今後の課題と対応

クロープナビの信頼性を高めるため、生育ステージや病害虫の発生状況調査を丁寧に行う。

気象データの活用や防除については生産者の関心が高く、アンケート結果でも取り組みの継続を望む声が多かった。

(地域第三係)

平成 29 年度 活動レポート : 地域における食育の推進

■背景とねらい

農村部に住む子ども達でも農業に触れる機会減っていることから、千曲市では農家有志による実行委員会が中心になり、小学生や保育園児による農作物の栽培体験が行われている。農作物が育つ過程や自然の偉大さ、農業の楽しさを子ども達に伝えることを目的としている。

■本年度の取組と成果

1 小学生のたまねぎ栽培体験

- (1) 屋代小学校および東小学校児童
 - ア 収穫体験 4年生 129名(6月7日)
 - イ 植付け体験 3年生 140名(11月15日)
- (2) 五加小学校児童
 - ア 収穫体験 4年生 72名(6月6日)
 - イ は種体験 3年生 73名(9月11日)
 - ウ 植付け体験 3年生 73名(11月15日)

2 千曲市内 5 保育園児さつまいも栽培体験

(1) 植付け体験 園児 214名(5月18、29日)

(2) 収穫体験 園児 216名(10月10、27日)

4年生は昨年 11 月に自分たちで植えたたまねぎを収穫し、調理して味わうのを楽しみにしていた。3年生は、たまねぎ苗を見るのも初めてという子が多く、熱心に取り組みたまねぎが地域の特産物であるという理解を深めた。

園児らは、春に植えたさつまいもの収穫を楽しんだ。そのなかで、1本の苗が生長してよいものができることを体験できた。

■今後の課題と対応

実行委員会のメンバーは若い人が少ないので、次の世代の育成が課題である。

(地域第二係)